

労連情報

茨城労働組合総連合

311-3121
東茨城郡茨城町丁谷田部295

Tel 029-219-1031
Fax 029-219-1032
e-mail ibaro@mc.ejnet.ne.jp

9/30に茨城労連第29回定期大会開催

茨城労連第29回定期大会が9月30日（土）に石岡市内で開催されました。突然の衆議院解散という情勢のもとで、1年間の茨城労連の取り組みの総括と新年度の方針、決算案、予算案が提案され、57名の代議員の参加の下で、全ての議案が採択されました。

以下は、各代議員の発言の要点をまとめたものです。なお、来賓として全労連の小田川議長が参加して、衆議院選挙の情勢について報告しました。

（全労連小田川議長）突然の衆議院解散で、短期間の選挙戦になったが、労働組合の課題を実現する立場で選挙に取り組む必要がある。戦争をしない国づくり、労働条件の改善や働き方改革の審議にも選挙結果が大きな影響を与える。

選挙戦の取り組みの中で、安倍内閣の退陣を求めていく。また、労働組合としては職場活動の中で、何よりも職場の実態や現在の問題点と政治のあり方を結びつけた議論を旺盛に展開していく必要がある。職場では、

「選挙に行こう」という呼びかけを継続して取り組むべきだ。

民進党と希望の党の合流がニュースになっているが、希望の党は戦争法賛成、憲法改正を基準にして民進党議員を選別しようとしている。これは希望の党が、市民と野党の共闘をつぶそうとするものでしかない。

しかし、民進党のリベラル議員の今後の動きがどうなるか現時点ではわからず、連合も腰が引けていて、自由党も混乱している。

政治情勢はこの一週間ほどの

ように変わるかわからず、注視していく必要がある。

労働組合としては労働者の要求実現の立場から、市民と野党の共闘を追求していくことが肝要だ。



1. 討論から

（医労連）茨厚労のストライキのご支援ありがとうございました。JA本社から送られてきた経営者は、ボーナスを0.5ヶ月に切り下げた上に、退職金を原資に支払うという提案をしてきました。土浦の協同病院の建て替えが行われ、満員の駐車場を見ている地域の住民からは儲かっ

ていると思っていた人たちも多かったです。

茨厚労はストライキや団交、労働委員会の斡旋などに取り組むと同時に病院の現状を知らせるため、チラシ配布等地域の宣伝、地域集会などにも取り組んだ。自分たちのたたかいが地域医療を守るたたかいだというたたかいの意義が最初から理解できていたわけではなかったが、たたかいの中で確信になっていった。団結、連帯の力で押して開かない壁がないことが理解でき

るようになった。

（私教連）8月2日に土浦駅前ではまき、宣伝行動、土浦日大までのパレード、理事会に対する要請行動に取り組んだ。7月に判決が出て、土浦日大の言い分は全面棄却された。しかし、土浦日大は東京高裁に控訴した。11月には判決が出る。

現在は、労働委員会と裁判で

たたかっているが、学校理事長の佐藤豊氏の証人喚問を要求している。本人は嫌がっているが、喚問を実現するために署名にも取り組んでいるので、署名の協力をお願いしたい。

（いばらきコープ）組織強化が課題になっている。今年の大会では、新役員の4名のうち3名が20代だ。私自身は20年も役員をやっているが、若い人からいろいろ気づかされることが多い。現在は秋闘の要求書を作っているが、分会長も若い人や女性が多くなっている。現場の声を拾って要求書を作っているが、誰のための組織なのかが問われている。

生協はユニオンショップで、アルバイトはオープンだが、声をかけていかないと組合員になってもらえない。現場の現状にあった活動とともに労働組合の意義を広めていく必要がある。

（県国公）国民のための行財政の充実を求める署名に取り組んでいる。署名の協力をお願いしたい。10月22日に定期大会を予定している。

（電機情報ユニオン）日立工機がアメリカのファンド会社に売却されて、今年中に新会社名が発表される。派遣で働いている人たちは12月にクビになるのではと心配している。

日立製作所は9～10兆円の売り

上げがあり、30万人の従業員を抱える大企業だが、リストラの強要が行われている。病気で休んだ場合、産業医がだめだと言うと復職させない。リストラ強要の中で、パワハラや退職強要が横行し、賃下げが強行されている。日立製作所の賃下げは、他の労働者に悪影響が及ぶ。

(茨城自治労連) 5月20日に、「なくそう長時間労働、自治労連いっせいで職場訪問」を実施した。6時、7時、8時、9時の時間帯に在職者数を調べ、残っている人から声を集めた。そうした声の中には、「9時で帰ればいい」「月150時間以上働いている」という声もあった。

常総市の水害では、長時間労働に対して人員増の要求を出して人員増を具体化することができた。長時間労働の背景には、人手不足が広がっている。

人員増の要求を秋の取り組みに位置づけて取り組みを強化したい。

(医労連) 介護職場で働く労働者の組織化が課題になっている。4~5月に介護福祉士に対してアンケートを実施したが、賃金に10万円の格差があることがわかった。会社によって対応が異なるが、11時間残業をしても7、8時間はサービス残業という場合もある。夜勤2交代で、仮眠時間がとれない上に、パワハラが上

司や患者からあるという状態だ。窓口相談がないところもあって、やりがいはあるがやめたいという人が多い。

外国人に頼るのではなく、現在働いている人の労働条件を改善すべきだ。賃金が安い上に仕事が多いことで、人手不足がひどくなっている。

(茨城自治労連) 保育部会を担当しているが、夫婦共働きとシングルマザーが増える中で、保育園に対する要望も高く、保育の施設が増えていない。昼食の外部委託をしているところは異物混入などがあり、子どもを安全に預けられる保育園を作っていく必要がある。現在国会への請願署名に取り組んでいるので、協力をお願いしたい。

(年金者組合) 年金者組合を作った28年経った。30人でスタートしたが、現在は1520人になった。伸び率が全国一位で、今年も表彰された。年金者組合は、黙っていても入ってくるだろうと言う人もいるが、「声をかけないと入らない」「何をやっているのかわからないと入らない」ので、日常的な組織拡大に取り組んでいる。

昨年、年金カット法案が成立し、「物価が上がっても年金を上げない」こと決まった。しかし、私たちは「年金を下げることは憲法違反だ」と訴え、裁判

を始めた。裁判については茨城労連にも支援をお願いしたい。

(勝田労連) 勝田労連は定期大会、成人おめでとう宣伝、那珂三浜の共同運動などに取り組んでいる。年4回、勝田労連便りを発行している。

日立製作所の系列会社は他社との合併が続いている。また、日立製作所は安倍首相との癒着を強め、イギリスのメイ首相が来日したが、イギリスとの経済的なやりとりを政府を通してやっている。

(鹿行労連) 私は茨城労連ができた時、常任幹事だった。当時は、核兵器廃絶署名を市町過半数集約に取り組み、実現した。折り鶴と趣意書を作って各戸に配布した。80歳過ぎたおばあさんがカンパしてくれて、20万円集まった。現在の現状を考えると今動かなくてどうなるのかという気持ちになる。

(茨城自治労連) 団塊の世代の退職で、早期に管理職になっている人も多い。次世代育成のために学習の取り組みが重要だ。組合役員の育成が喫緊の課題になっている。電通の裁判があったが、50万円の判決が出ただけで、犠牲になるのは若者と女性だ。

(茨城自治労連) 議案書に18春闘の準備とあるが、具体的な記述がないのではないかと。また、労

働学校の総括がないのではないかと。学習運動と組織拡大を方針に掲げているのだからきちんと総括すべきだ。

今年の労働学校のアンケートでは、20代の参加者から「自分の考えが周囲に流れに流されていることがよくわかった」「要求を出したら会社が困るのではないか、賃金を上げたら会社が経営が困難になって困るのではないか」と考えている若い人が多いが、労働者の立場からの賃金や労働法制の学習が大事なのではないか」という声が寄せられている。

(建交労) 誰か困っている人がいたら、労働組合はみんなで話を聞いて相談にのって助けてやるのが大事だ。中立組織に対する働きかけも取り組んでいく

必要がある。

(高教組) 現業職員の正規採用をしていないため、嘱託職員(非正規労働者)が増加している。学校によっては嘱託職員が4人で、内1人は障害者雇用という学校もある。災害が起きた時、学校のどこに何がどこにあるのかわかるのが正規職員で、災害対応も正規だからできる。

(茨城自治労連) リーダー育成、組織拡大が課題になっている。常総市職では30代の男性、20代の女性が執行委員を引き受けてくれた。

職員組合の日頃の取り組みを見てくれて、引き受けてくれた。若者を大切にしながら、リーダーの育成、誰がやっても楽しい組合運動が大切だ。



白石新議長の団結頑張ろう